

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	05	子育て支援事業			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			675110	地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/石倉	64813/64852		

事業の概要										
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業…男性保護者が主体的に子育てに関わることが出来るように、子どもへの関わり方を伝えたり、お互いに情報交換をする講座を開催する。 親育ち支援事業…初めての赤ちゃんを育てる母親の育児に対する不安感、孤立感を軽減し、早い時期から子育ての仲間作りができるよう講座を開催する。 あつまれキッズ…親子ふれあいの場・交流の場・学びの場・相談の場・情報の場を提供し育児力向上を目指す。 								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費				
		平成27年度	—							
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世帯の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力を向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習、父親の育児参加を促進させることが必要とされている。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	826	691	803	636				
		国庫支出金								
		市債								
	その他特財	40	31	1	0					
	一般財源	786	660	802	636					

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の親子等が交流・学習する機会やさまざまな場の提供をし、父親の育児参加の促進や子育て力の向上を図り、子どもが健やかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業…9～10月にかけて、すくらむ21で4回連続講座を開催する。 親育ち支援事業…5、8、11、2月に、区役所あるいは高津市民館で4週連続講座を開催する。 あつまれキッズ…区内施設(4か所)において対象年齢毎に今年度よりサロン形式で地域の子育てを支える支援者と共に実施。(台風被害及び新型コロナウイルス感染予防対策のため5回休み)

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業は、父親の育児参加促進講座を4回連続講座として実施。親子9組が参加。親育ち支援事業は、4週連続の参加型講座を4回実施(うち1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため途中で中止)。母子78組が参加。あつまれ！キッズ…区内施設(4か所)において対象年齢毎に今年度よりサロン形式で地域の子育てを支える支援者と共に実施。(台風被害及び新型コロナウイルス感染予防対策のため5回休み) 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	子育て支援講座(4回連続講座)(実施回数)	目標	1	1				回
			実績	1	1				
	2 活動指標	親育ち支援事業(4週連続講座)(実施回数)	目標	4	4				回
			実績	4	4				
3 活動指標	あつまれキッズ(実施回数)	目標	39	40				回	
		実績	39	35					
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は出生数や子育て世帯の転入が多い。子育て不安・孤立化を防ぎ、子育て当事者の子育て力の向上と、安心して子育てができる地域づくりのため、子育て当事者に向けた子育てに関する学習や当事者間や地域支援者との交流や、父親の育児参加の促進などが必要とされている。		
事業の見直し・改善内容	実施 (直近)	年度	■ 今後実施 (R2年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載	早い段階で子育て家庭の孤立化を防ぎ、友だちづくりや地域との交流を促進するため、0歳児対象のあつまれ！キッズを1か所より区内3か所まで実施し、区内の幅広いエリアをカバーしていく。転入交流会の開催時期のスパンを長く設け、転入者への支援を強化する。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て世帯の転入が多く、子育ての孤立化を防ぐためにあつまれ！キッズのサロン化を実施した中では、新規利用者が4割であり年間通して受け入れ、孤立化防止の一端を担った。今後も継続していく必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業の中で交流・学び・情報提供・相談対応を通し、子育て当事者と支援者・当事者間の相互の関係を活用した支援を実施することで、親としての成長も担え事業の成果は上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	同じ目的で実施している事業を統合し、それぞれの強みを生かし事業の強化と実務の精査を実施し、効率化を担った。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 子育て中の親子の子育て不安や孤立化の軽減のため、当事者間・支援者と当事者の相互関係をいかした支援を実施し、当事者の「親としての成長」と子育てしやすいまちづくりを目指す。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	10	子育てネットワーク推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/根津	64813/64851	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育てネットワーク会議…子どもに関わる団体、関係機関等が集まり子ども・子育てに関する情報交換や課題の共有、協議等を行うと共に、情報部会、子育てグループ支援部会、研修・企画部会を設置して、子育て情報ガイドの内容の検討、子育てグループ交流会や講演会の開催などを行う。 転入者子育て交流会…子育て世代の転入者に向けて、地域情報・子育て情報の提供と参加者同士が交流できる場を提供する。 子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会を開催する。 子育てグループのニーズを把握するための見学会を実施する。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		高津区は出生数、子育て世代の転入者が多い。知り合いのいない慣れない地域で孤立感、不安感を抱えた保護者に対し、地域や子育て関係施設と連携して支援を行い、子育てしやすいまちづくりを目指す必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	950	799	321	249				
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	950	799	321	250				

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の関係機関や団体等が連携し、区内の子ども・子育て支援のネットワークの強化を図り、地域で支え合いながら子育てしやすいまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育てネットワーク会議…年4回会議を開催するとともに、必要に応じて部会を開催し、講演会の検討等を行う。 転入者子育て交流会…地域の子育て情報の提供や参加者同士の交流の場の提供を年6回行う。 子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会「きつとみつかると楽しい仲間」を年1回開催する。 子育てグループのニーズを把握するための見学会の開催を年3回以上実施する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	ネットワーク会議は、本会議3回、情報部会2回(情報ガイドの編集等)、子育てグループ支援部会3回(子育てグループ交流会の企画実施、子育てグループの活動上の課題把握等)、研修・企画部会2回を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため本会議及び各部会1回を中止。転入交流会は、0歳児対象の会を春・秋各2回、1～2歳児対象の会を春・秋各1回ずつ実施、地域の子育て支援者の協力のもと当事者間、地域と交流し仲間づくりの一端を担った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催(開催回数)	目標	4	4				回
			実績	4	3				
	2 活動指標	転入者子育て交流会の開催(開催回数)	目標	6	6				回
			実績	6	6				
3 成果指標	子育て交流会「きつとみつかると楽しい仲間」の開催(参加者)	目標	100	100				人	
		実績	169	79					
4 活動指標	子育てグループ見学会の実施(実施回数)	目標	3	3				回	
		実績	11	7					

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や団体等と連携し、地域交流の機会(場)の提供や子育てを支える地域づくり(ネットワーク)の強化を推進する必要がある。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(R2年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	子ども・子育て支援ネットワークの推進に向け、更なる連携強化と新たな担い手を発掘・育成する必要がある。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や支援団体等が連携し、子育てに優しい街づくりを実施する必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民、関係機関、団体等と子ども・子育て支援の課題について協議し、課題解決のため各事業を協働して実施した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	多様化するニーズに迅速に対応するため、転入交流会の実施スパンを広く持ち受け入れを実施していく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 年間の出生数や子育て世代の転入が多い高津区において、子育て不安や孤立化を軽減し子育てしやすい街づくりを目指すことは必要であり、関係機関や支援団体等とのネットワークの強化が重要となっていくため、担い手の発掘や育成へも力を入れながら市民主体の活動へ支援していく必要がある。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	15	子育て情報発信事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域ケア推進課/保育所等・地域連携		岡部/根津	64813/64851	

事業の概要										
事業の概要		子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報がさまざまな手段で得られるよう、子育てガイドブック「ホットこそだて・たかつ」やリーフレットを発行するとともに、ホームページやアプリなどを通じて情報の提供を行う。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費					
		平成27年度	—							
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。								
予決算 (単位:千円)	年度 財源内訳	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	1,390	1,258	1,215	1,016				
		国庫支出金								
	市債									
	その他特材									
	一般財源	1,390	1,258	1,215	1,016					

計画 (Plan)	
事業の目的	子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように適切な子育て情報の提供を行う。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報ガイドブック「ホットこそだて・たかつ」の発行(7月に8,000部発行) 区内地域子育て支援センターリーフレットの発行 ホームページの作成・更新

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・情報ガイドブック「ホットこそだて・たかつ」の情報を更新し、8,000部発行。ホームページは随時更新。 ・区内地域子育て支援センターリーフレットについては、在庫を活用したため発行しなかった。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子育て情報ガイドブックの発行	目標	8,000	8,000			部
				実績	8,000	8,000			
	2	活動指標	区内地域子育て支援センターリーフレットの発行	目標	7,000	5,000			部
				実績	5,000	0			
3	成果指標	ホットこそだてたかつホームページアクセス数	目標	8,000	8,000			件	
			実績	8,122	7,358				
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 31 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成29年度:他の情報媒体があるため、「あったかつうしん」の発行を終了した。 平成31年度:区内地域子育て支援センターリーフレットは在庫を活用し、平成31年度は発行しなかった。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することで、広く情報発信・提供することが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。発行部数については精査する。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	20	高津区子ども・子育てフェスタ事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域ケア推進課		岡部	64813	

事業の概要											
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しめるイベントの開催 ・子育て中の保護者など参加者が交流を深めることのできる場の提供 ・子育て支援機関や団体、子育てグループ、地域子育て支援センター等の活動内容の情報提供 									
実施期間		事業開始年度 平成17年度		事業終了年度 —		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
地域の課題と現状		子育て中の保護者の不安や悩みが多様化しているが、孤独感を感じず、子育てを楽しめるよう地域全体で子育て支援を行っていく必要がある。									
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度		H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		414	338	488	383				
		国庫支出金									
市債											
その他特財											
一般財源		414	338	488	383						

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の保護者や子育て支援に関心のある区民が、子どもと楽しく過ごしながら、子育てに関連する情報を得る中で、子どもを育てる力の向上を図ると共に、子育て支援機関や団体及び関係行政機関が協働して実施することで、地域全体で子育てを支える意識の向上を図る。
今年度の事業の取組内容	11月16日に高津市民館で、第15回高津区子ども・子育てフェスタを開催する。

実施結果 (Do)											
上記取組内容に対する達成度		3	<ul style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った 								
取組内容の実績等		11月16日に高津区子ども・子育てフェスタを開催。乳幼児から小・中学生の子どもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育てを支援する団体・機関などを紹介する展示、コンサートなど子ども向けの催し物を開催。来場者1,800人、参加者に配布した各団体等の活動状況を掲載した冊子の参加は76団体。									
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指 標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
		1	成果指標	子ども・子育てフェスタ(来場者)			目標 1,600	1,600			人
					実績	2,100		1,800			
		2			目標						
					実績						
		3			目標						
			実績								
4			目標								
			実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入が多い中、地域での子育ての仲間作りが出来ず、育児不安を持つ区民がいることから、地域の子育ての仲間作りにつながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体及びイベント出展団体との協働により、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることも必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入が多い中、地域での子育ての仲間作りが出来ず、育児不安を持つ区民がいることから、地域の子育ての仲間作りにつながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体及びイベント出展団体との協働により、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることが必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	乳幼児から中学生まで幅広い年齢の子どもが参加し、父親の参加も多くなりました。フェスタの開催を通じて関係団体等との連携・ネットワーク強化が図られ、区民への情報提供に生かすことができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 こども・子育てフェスタは今年度で15回を迎え、当区における子ども・子育てのイベントとして定着している。子育ての不安をひとつでも取り除き、地域全体で子育てを支えている意識の向上が図られる場となるよう、内容の充実を目指していく。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	35	高津区待機児童対策推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675150		児童家庭課		高木	64873	

事業の概要										
事業の概要		保育所に関する情報を紙媒体や市ホームページ上での提供だけでなく、個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、映像を用いた保育園案内(紹介)資料の作成、及び保育所施設マップを作成することにより、情報提供の充実化を図る。								
実施期間		事業開始年度 平成26年度		事業終了年度 —		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費		
地域の課題と現状		社会保障と税の一体改革に伴う「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度からスタートしたことにより、市町村においても、子育て家庭のニーズに応じた子育て支援に関する情報を提供していくことが求められている。 本市においても、待機児童解消を目指していく上で、利用者にとって必要な情報をより効果的に提供していくことが必要となっている。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		単位
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	722		721		592		564		
		財源内訳	国庫支出金							
市債										
その他特財 一般財源	722		721	592	564					

計画 (Plan)	
事業の目的	利用者が個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、情報提供の充実化を図る。
今年度の事業の取組内容	区内認可保育園及び川崎認定保育園等の施設紹介映像(90秒/園)の制作と動画投稿サイト(川崎チャンネル)への投稿による情報提供。高津区子育て施設マップ(改訂版)の作成。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		区内保育園7園(認可3園・川崎認定4園)について施設紹介動画(90秒/園)を制作し、10月に動画投稿サイト(川崎チャンネル)に投稿・公開した。 また、区内の保育施設を示したマップを4000部作製し、新年度の保育園利用案内と併せて配布した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	成果指標	区内保育園の施設紹介動画の制作と動画投稿サイトでの公開	目標	12	7				園
				実績	12	7				
	2	成果指標	高津区子育て施設マップの作成	目標	3,500	3,500				部
				実績	3,500	4,000				
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)										
事業を取り巻く社会環境の変化		認可保育所等への申請者数は、高津区は中原区に次いで2番目に多い。保育児童数は依然400名を上回っており、そのような環境下において「待機児童ゼロ」を達成するには、認可保育所等だけでなく、認可外保育所(川崎認定保育園)も含めたマッチングが、引き続き重要になっている。								
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載								
評価項目						評価				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a			
	評価の理由		年々保育園は増加していること、また施設紹介映像については、最初に撮影してから年数が相当経過していることにより、園の保育内容や保育士異動等に伴う変化を反映させる必要がある園が相当数あることからニーズは高いと考える。							
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a			
	評価の理由		動画投稿サイトにおける累計再生回数は130,000回を超えていること及び平成29年5月に実施したアンケート調査で、施設紹介映像を視聴した方の90%が「分かりやすかった」と評価していることから、一定の成果があったと考えられる。							
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	a			
	評価の理由		昨年度は幼児教育・保育の無償化の影響を見込んで、子育て施設マップを500部増やしましたが、無償化の影響による保護者の動向は引き続き注視する必要がある、見直しの可能性はあまりないと考える。							

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	保育児童数が400名を超える中、「待機児童ゼロ」を達成するためには、引き続き認可保育所等だけでなく認可外保育所(川崎認定保育園)を含めたマッチングが重要であり、そのための有効なツールとして、本事業を継続することが適切であると考える。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	40	こども未来事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		保育所等・地域連携/地域ケア推進課		石倉/岡部	64852/64813	

事業の概要										
事業の概要		高津区の地域特性を踏まえ、さまざまな地域資源を活用しながら、ものづくりや多様な人との交流の機会を設け、子どもたちの健やかな成長を支援する。 木との触れ合いの機会の提供を通じ、感性豊かな心の発達を促すとともに、森林や環境問題への理解を育む。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費					
		平成28年度	—							
地域の課題と現状		少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少している。またプラスチックや金属素材の製品が多くを占めるようになり、木に触れたり見たりする機会も減少している。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	451	240	359	245				
		国庫支出金								
市債 その他特材 一般財源		451	240	359	245					

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちが地域の中で、さまざまな体験や多様な人との交流をすることで、自身の将来や地域社会を理解し、つながりを感じるきっかけをつくり、多世代交流を推進する。 国産木や自然の素材に触れ、子どもの豊かな感性を育む。
今年度の事業の取組内容	・こども未来体験…高津ものまちづくり会と区内小学校との協働によりものづくり技術の体験等 ・多世代交流事業…多様な年齢、地域での交流を実施 ・木育推進事業…木製遊具を通じ、木材に親しむ機会を創出

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		ものづくり体験事業は、下作延小5年生76名を対象に、学習会を12月5日に実施した。多世代交流事業の「子母口カフェ」は地域ボランティアも活用し利用者も50%増となり地域のコミュニティとして定着化しつつある。また、地域での多世代交流の後方支援として情報提供やツールの紹介などを区内の保育園等に実施した。 木育推進事業を単独で開催するだけでなく、事業の目的をより効率よく達成するために、既存の事業と統合し木材に親しむ機会を多く持ち、地域の子育て支援者も含め木育推進への理解と意識の向上を担った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	成果指標	こども未来体験事業(参加者)	目標	130	60			人
				実績	135	76			
	2	活動指標	多世代交流事業(開催回数)	目標	14	13			回
				実績	16	12			
	3	活動指標	木育推進事業(開催回数)	目標	4	4			回
実績				5	7				
4			目標						
			実績						

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	地域のコミュニティの希薄化により、集う場所、地域人材の力を発揮する場所等が失われている中、機会を設定したり地域人材や場のマッチングをしたりする必要がある。また、日常生活の中で木材に触れる機会が少なくなっているため、木材の良さや日本が木材と共に培ってきた生活の知恵などを再認識し、自然や人との関わりやの良さを味わう機会を持ち働きかけることは地域交流や木材利用の促進・普及、人材育成の面からも必要である。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	転入者の増加や、共働き世帯の増加等日常的な地域のコミュニティは取りづらくなっている。地域同士のマッチングも含めコミュニティのきっかけづくりや後方支援を実施することが更に重要となっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各事業への理解や協力が増えている。更なる事業充実に向け後方支援等にも力を入れ、市民での継続や実施に向けた取組ができるようにしていく必要がある。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	単独事業ではなく、他の事業とのタグや地域人材・担い手の活用等を実施しながら、市民の主体的な活動を生み出す力へとシフトしていく必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 次世代を担う子ども達が、将来に向かって夢と希望を持ち、のびやかに成長できるように、地域交流の中で資源や人材を活用した事業を実施する。 地域に暮らす多くの人たちとの交流を地域に定着させることにより、生きがいづくりや明日の未来を見よう子ども達の強制意識の醸成を担っていく。